



# 学校へのインターネット導入 10年を振り返って

---

吉田町立郷野小学校

玉井 基宏

京田辺市教育委員会

中島 唯介



# 内容

---

- 教育の情報化
  - 100校プロジェクト後の学校
- 広島地域での活動
- 京田辺市教育委員会での事例
- まとめ

# 「学校教育の情報化」推進計画

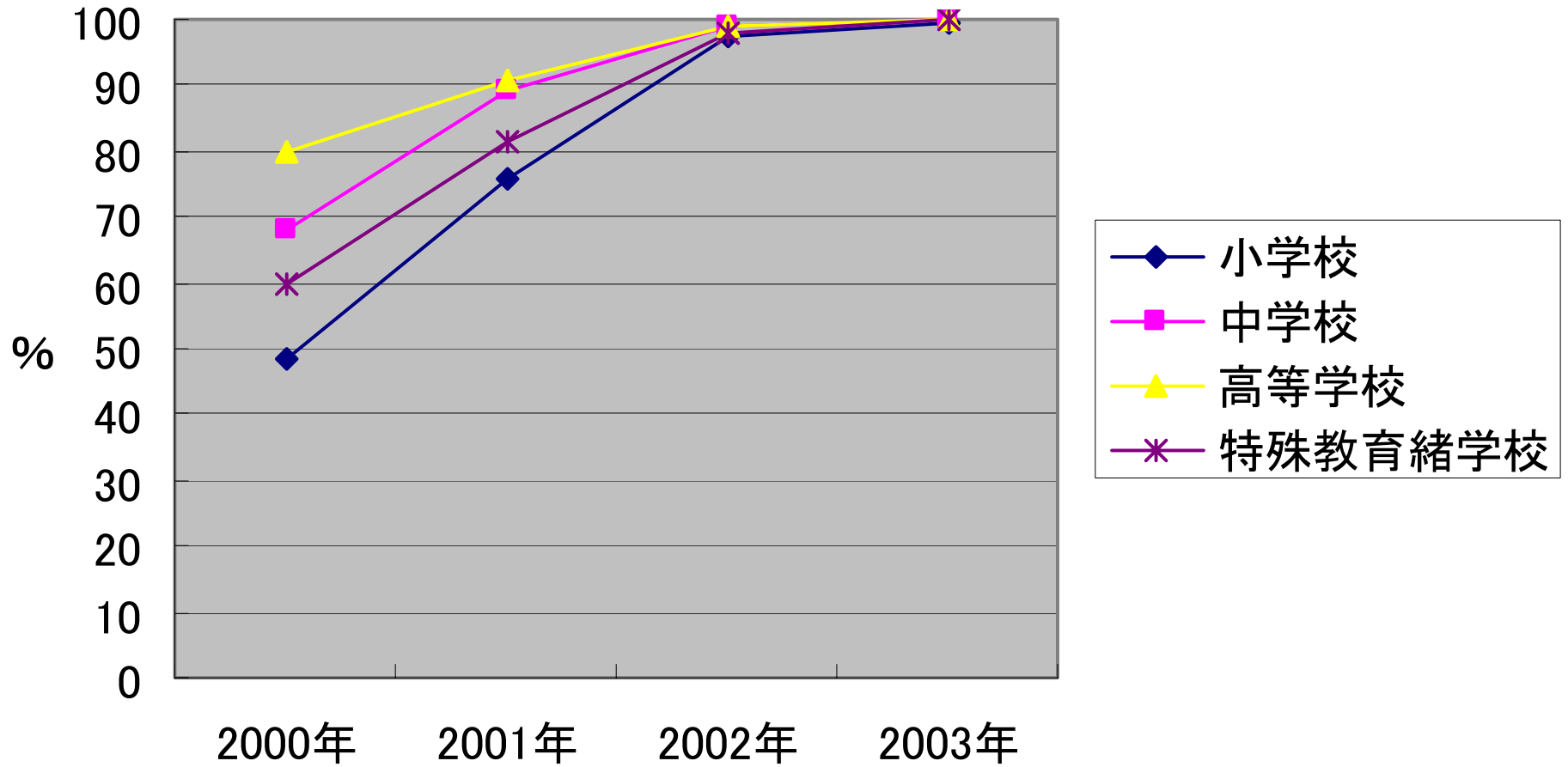
		平成12年度 (2000年度)	平成13年度 (2001年度)	平成14年度 (2002年度)	平成15年度 (2003年度)	平成16年度 (2004年度)	平成17年度 (2005年度)
目 標	【平成13年度までの目標】 ●全ての公立小中高等学校等をインターネットに接続する ●全公立学校教員がコンピュータを操作でき、半数はコンピュータを用いて指導できるようにする	→					
	【平成17年度までの目標】 ●全ての公立小中高等学校等の、全ての学級のあらゆる授業において教員及び生徒がコンピュータやインターネットを活用できる環境を整備する ( ・各普通教室等へのコンピュータ・ネットワークの整備 ・概ね全公立学校の高速度インターネット接続 ・概ね全公立学校教員がコンピュータを用いて指導できるようにする)	→					
教育 課 程	小学校学習指導要領	各教科で教育機器の活用 移行措置					各教科や総合的な学習の時間でコンピュータや情報通信ネットワークを活用
	中学校学習指導要領	技術・家庭「情報基礎」(選択) 各教科で教育機器を活用 移行措置			技術・家庭「情報とコンピュータ」を必修 各教科や総合的な学習の時間でコンピュータや情報通信ネットワークを活用		
	高等学校学習指導要領	各教科で教育機器の活用 移行措置			情報科を新設・必修 各教科や総合的な学習の時間でコンピュータや情報通信ネットワークを活用		
ハ ー ド 面	教育用コンピュータ等の整備 [周辺機器、ネットワーク化を含む] (地方交付税措置)	コンピュータ教室(42台)、普通教室(各2台)、特別教室等(各学校6台)					
	校内LANの整備 (国庫補助)	ミレニアム・プロジェクトによる整備(約8,000校) ← 前倒し 14年度以降 → 引き続き公立文教施設整備費により推進					
	新世代型学習空間の整備 (国庫補助)	ITを活用した授業が自在にできるよう情報対応仕様を備えた教室の整備					
	インターネット への接続 (地方交付税措置) (国によるモデル事業)	教育情報通信ネットワークの整備 前倒し		高度教育用ネットワーク利用環境の整備			
ソ フ ト 面	全公立学校(約39,700校)が接続	全公立学校の高速度の推進(光ファイバー、ADSL等への切替え推進)					
	高速インターネットを活用した教育方法についての研究開発(約3,200校)						
	教員研修の実施 (国:都道府県のリーダー養成 都道府県:校内リーダー養成 各学校:校内研修)	コンピュータの操作技能の習得		各教科でのコンピュータやインターネットを活用した授業実践 (IT活用指導力向上プラン)			
	学校教育用コンテンツの開発 (国によるモデル開発)	ミレニアム・プロジェクトによる開発	コンテンツの普及、充実				
	教育情報ポータル機能の整備 (国による整備)	ミレニアム・プロジェクトによる整備(教育情報ポータルサイトの開設など)					
インターネットを活用したフェスティバルの開催				e-スクール			



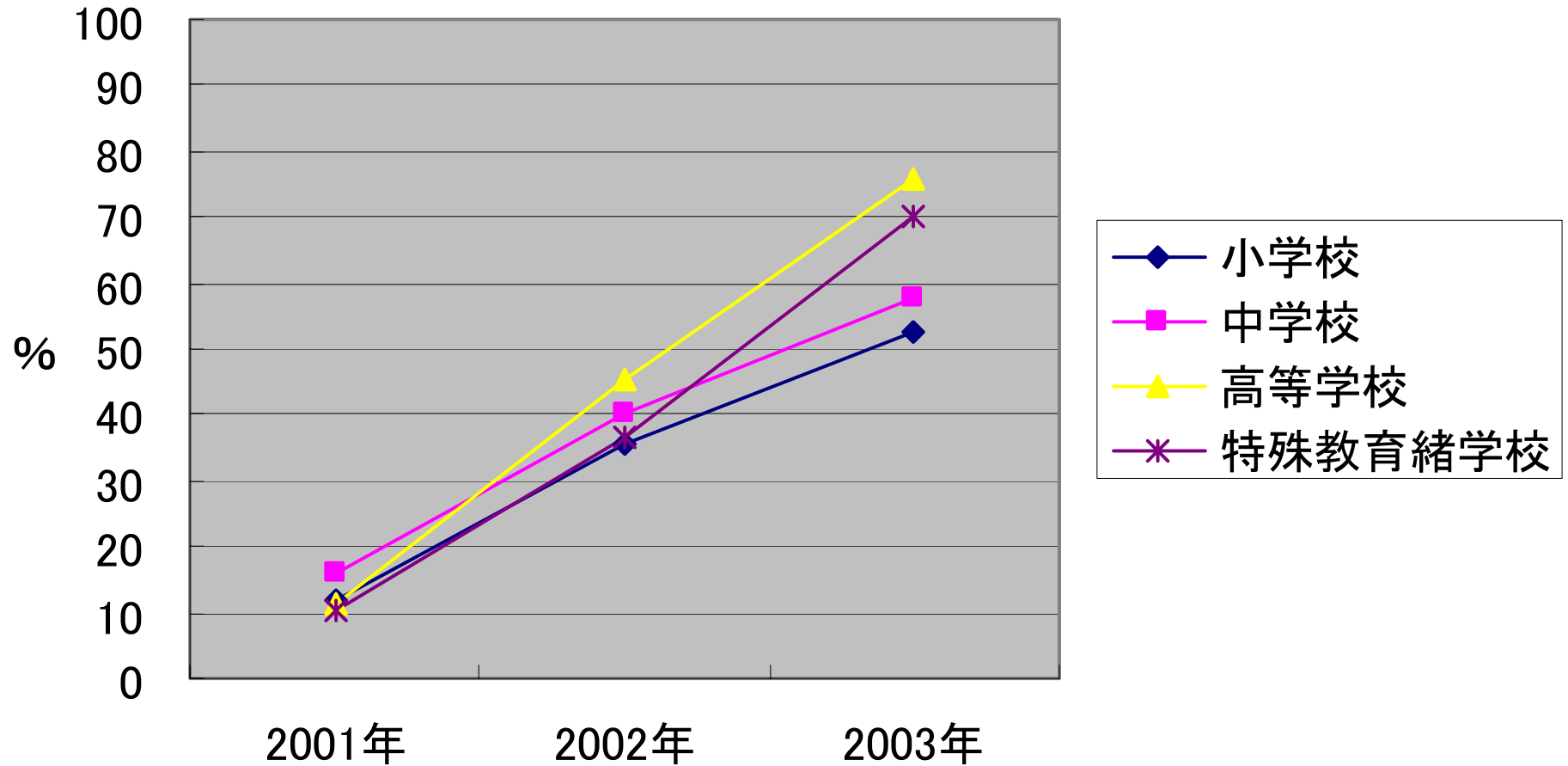
# インターネット利用環境の整備

---

# インターネット接続状況



# 高速インターネット接続校





# 高速回線の定義

---

- 401Kbps以上（文部科学省）



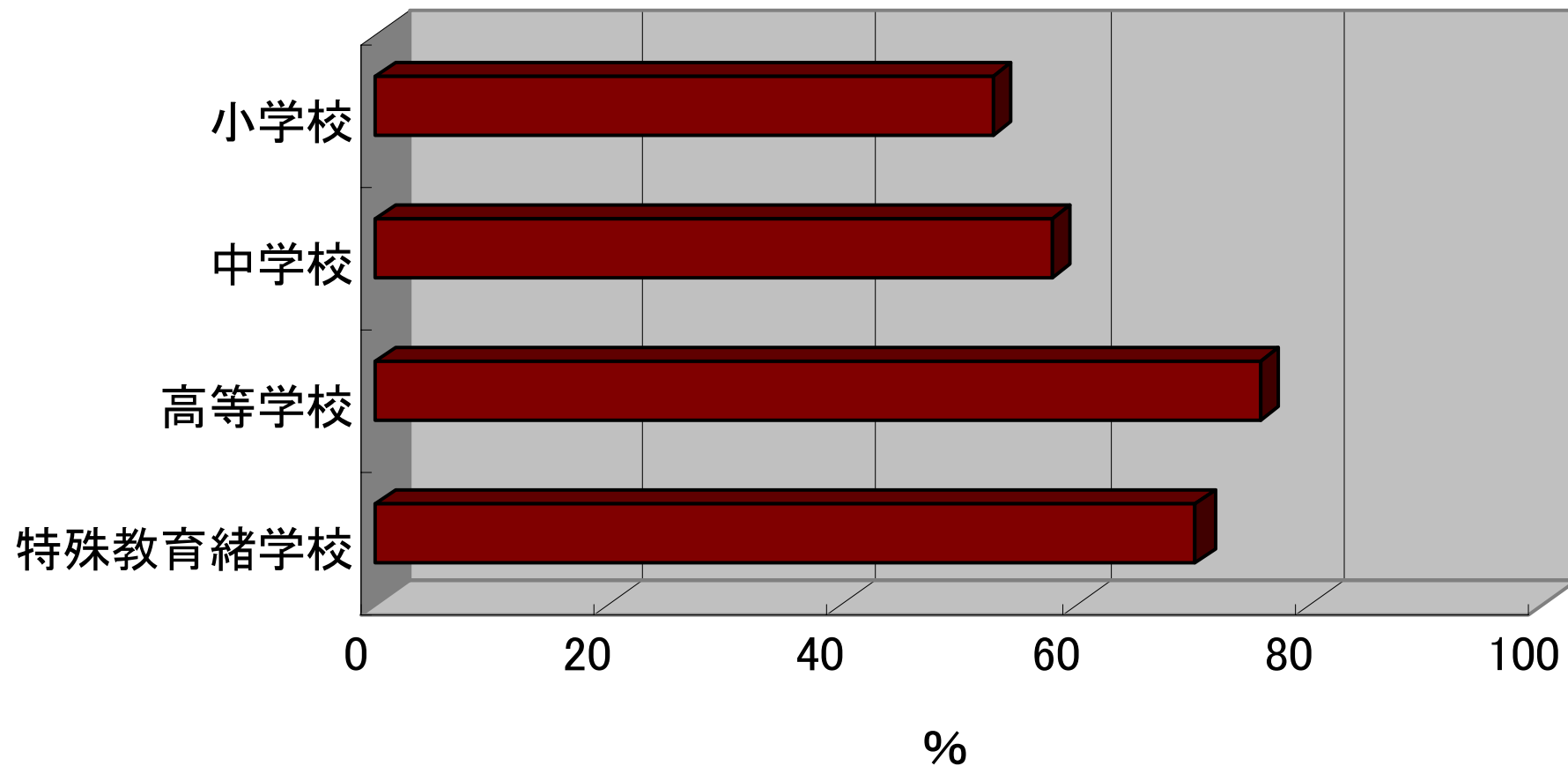
## 高速回線の定義

---

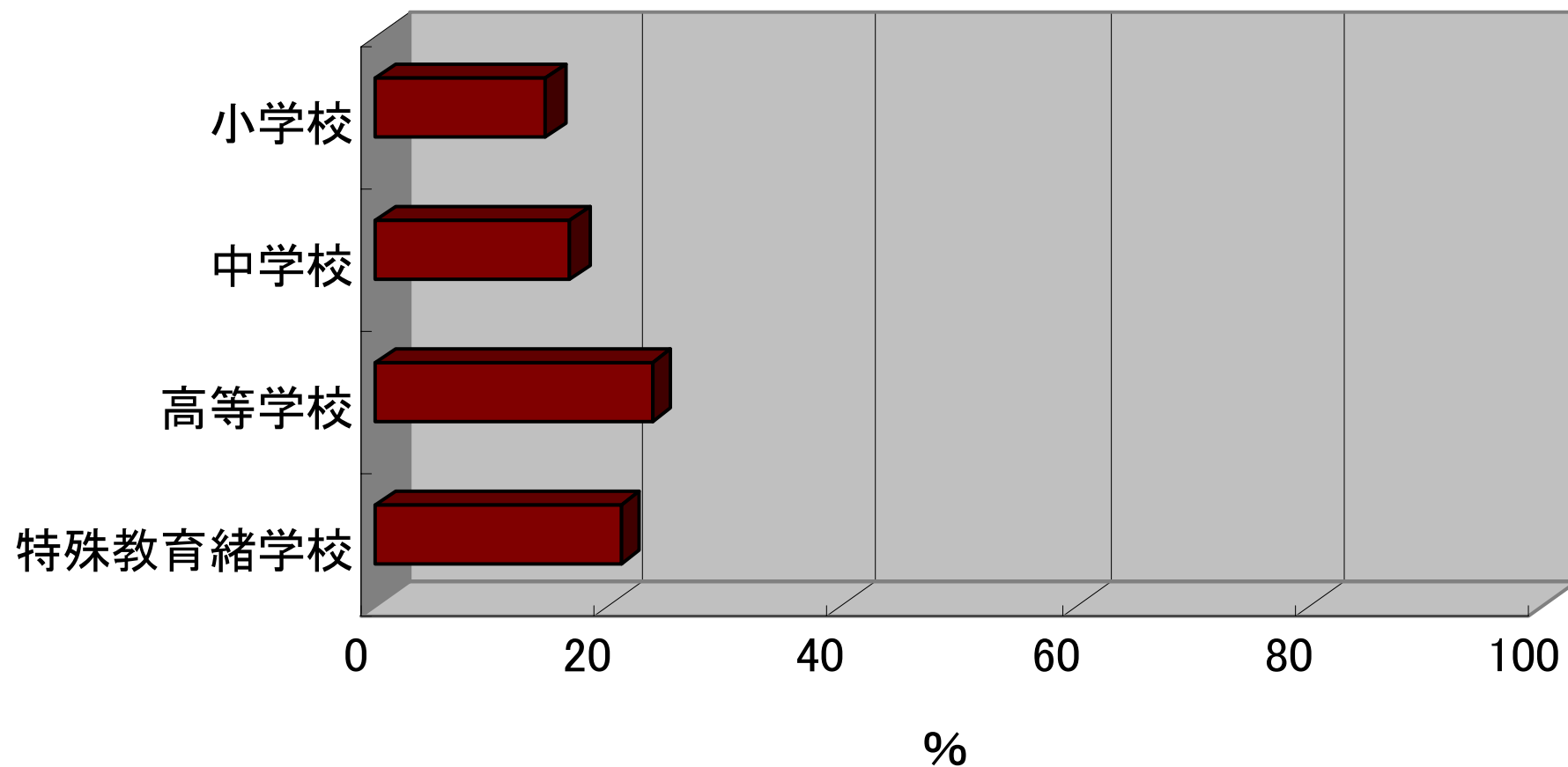
- 401Kbps以上(文部科学省)
- 10Mbps以上は欲しい



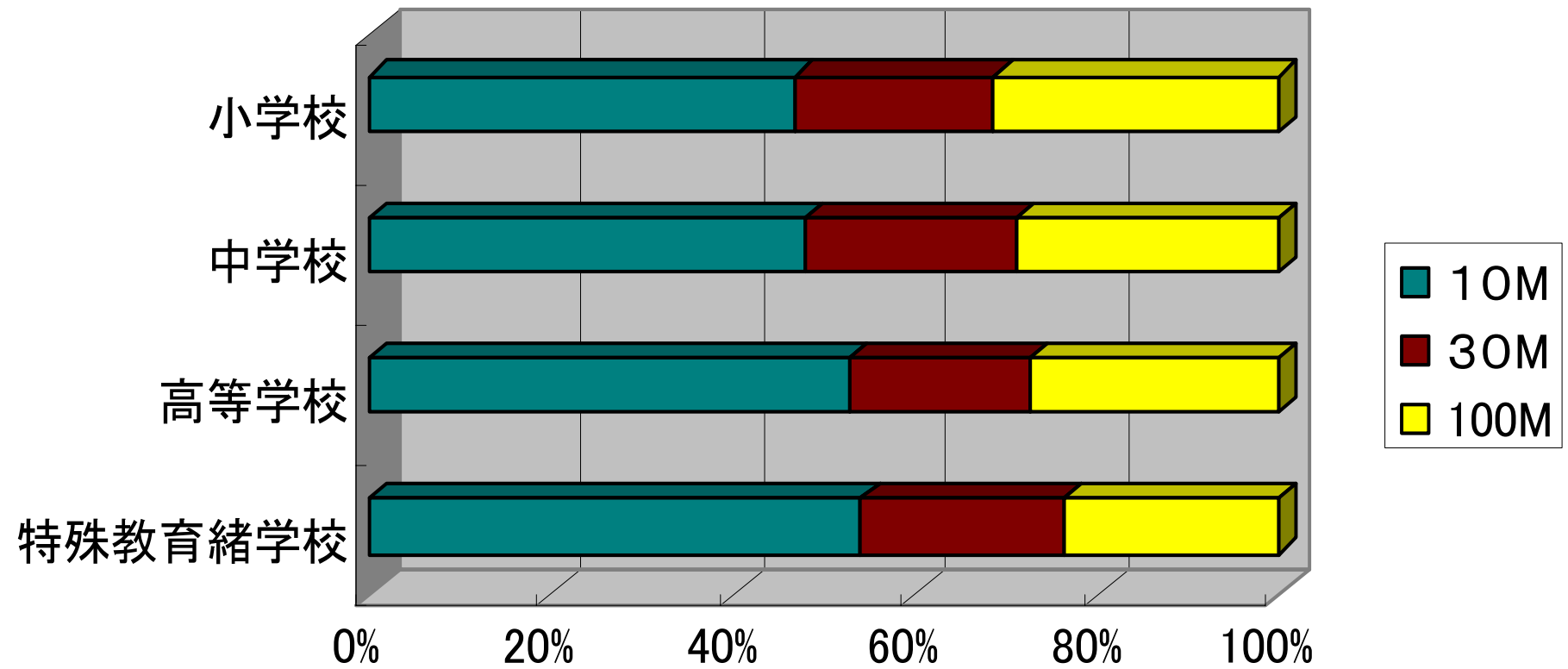
### 高速インターネット接続校(2003/03)



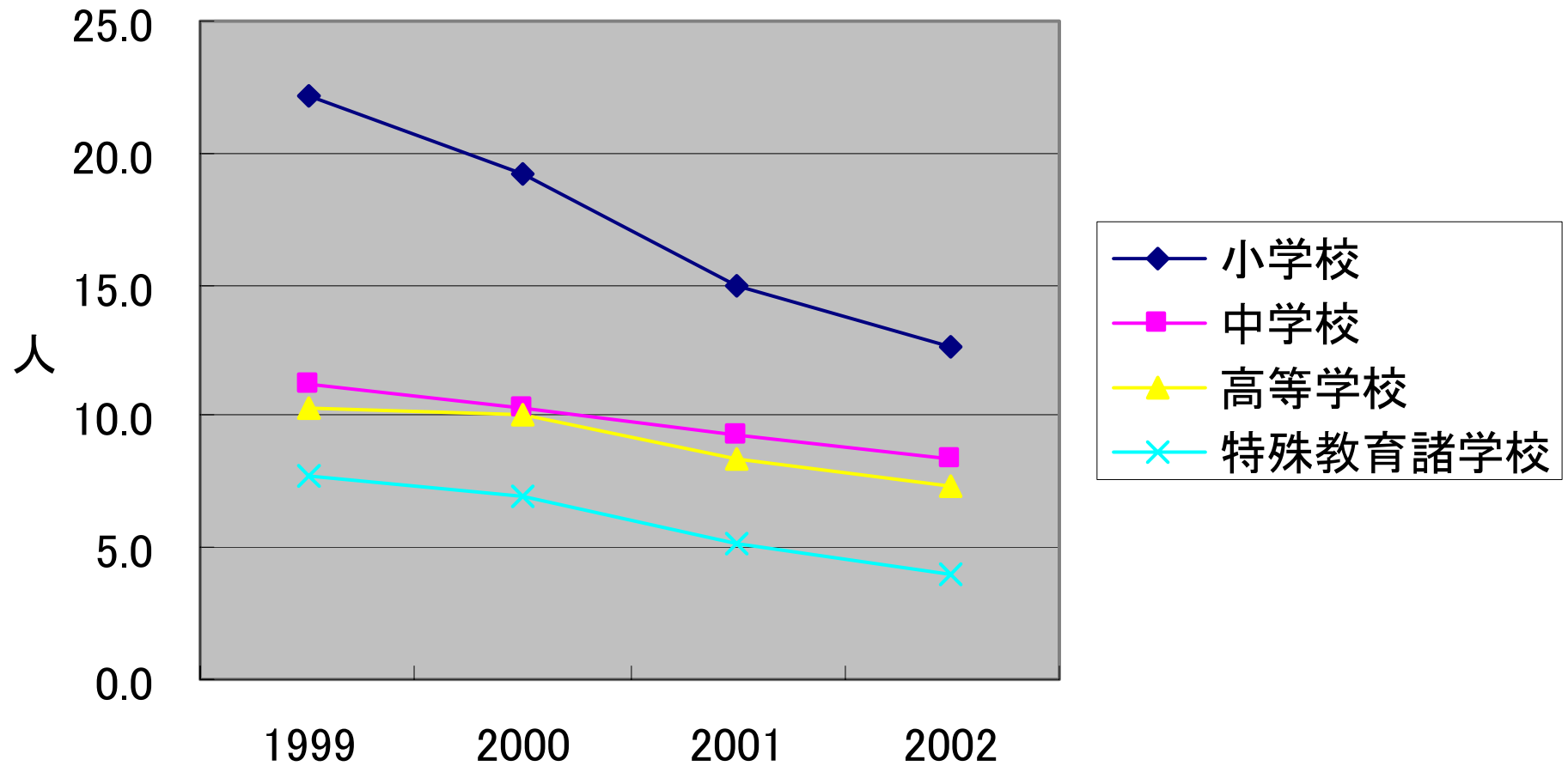
### 高速インターネット接続校(2003/03)



# 回線速度接続状況



# コンピュータ1台あたりの児童生徒数



# 学校のコンピュータ整備及びインターネット接続について

## 1. 教育用コンピュータ及びインターネット接続の整備

平成17年度を目標に、各学級の授業においてコンピュータやインターネットを活用できるよう、これまでのコンピュータ教室への整備に加え、小学校のコンピュータ教室の充実及び新たに普通教室・特別教室等へのコンピュータの整備を図るとともに、インターネット接続については、平成17年度までに光ファイバーやADSLなどの高速回線への切り替えを計画的に推進することとしている。

### (1) 教育用コンピュータ整備計画

	従来整備計画 平成6～11年度		新整備計画 平成12～17年度
【コンピュータ教室（標準的な学校における整備水準）】			
小学校	22台	→	42台（児童1人に1台、教員用2台）
中学校	42台	→	42台（生徒1人に1台、教員用2台）
普通科高等学校	42台	→	42台（生徒1人に1台、教員用2台）
盲・聾・養護学校	8台	→	8台（聴覚1人に1台、教員用2台）

※「普通科高等学校」とは、普通科単独校（専門教育のその他の学科を含む）をいう。

### 【普通教室・特別教室等】（新規）

各 学 校	普通教室	→	各2台（児童生徒用1台、教員用1台）
〔専門高等学校を含む〕	特別教室等	→	学校ごとに6台

※ 1台当たり児童生徒数 15.5人 → 5.4人

（各教室の教員用コンピュータをノート型で整備し、職員室と兼用することにより、教員1人に1台の整備が可能）

### (2) インターネット接続の高速化





# 教育課程

---

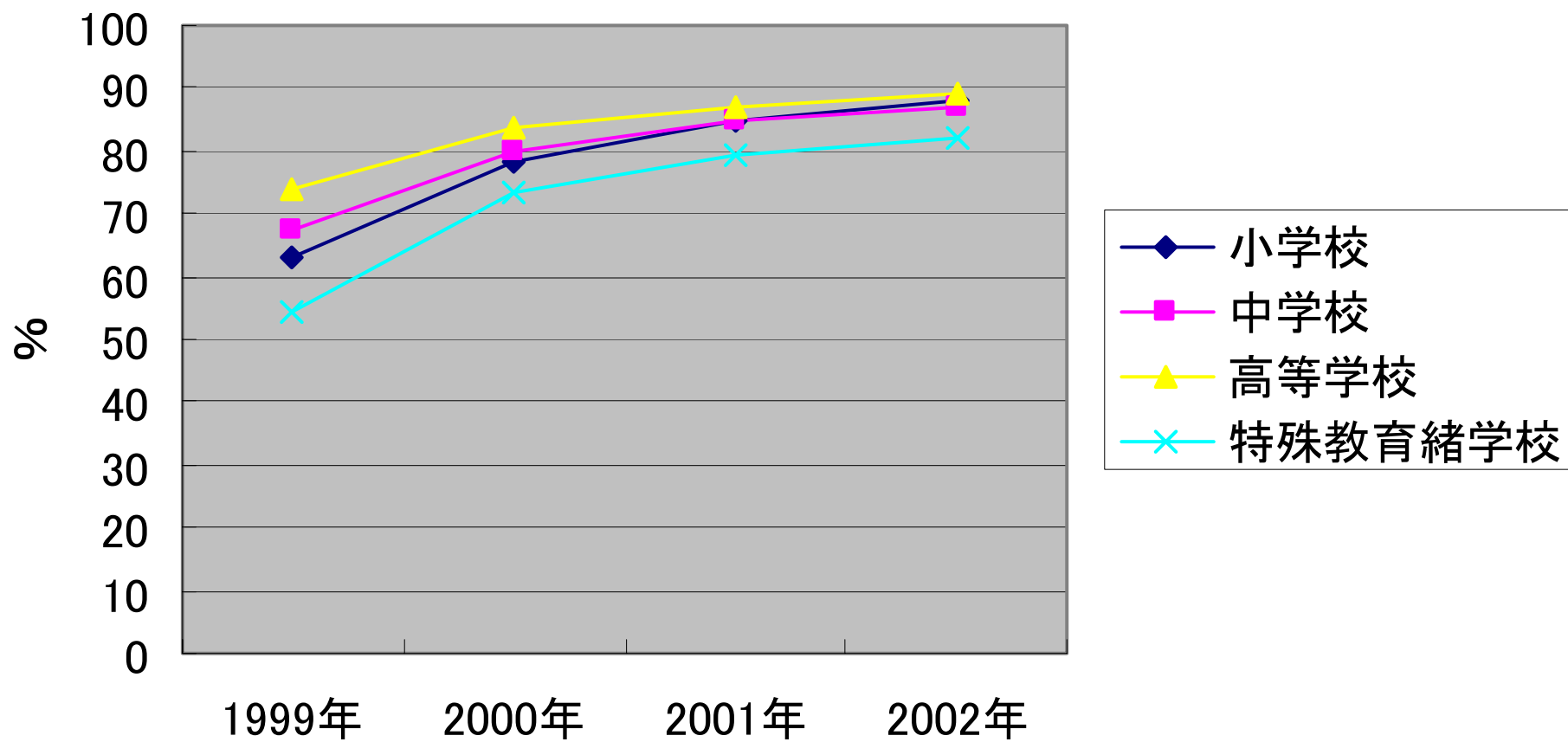
# 情報教育の目標(情報活用能力の育成)

1情報活用の実践力 2情報の科学的理解 3情報社会に参画する態度

	情報教育の核となる教科・科目 目標2, 3を育成	その他の教科等 目標1を育成	コンピュータ等の 操作能力
<b>小学校</b>	(児童の実態に即した指導)	各教科等  各教科等・総合的な学習の時間	やってみる  使ってみる
<b>中学校</b>	技術・家庭科 「情報とコンピュータ」	各教科等  社会科「公民」情報化の進展が社会生活に与えた影響  各教科等・総合的な学習の時間	できる 使える
<b>高等学校</b>	普通教科「情報」  情報A      情報B 情報C	各教科等  各教科等・総合的な学習の時間	主体的に選択して活用できる  道具として使いこなす

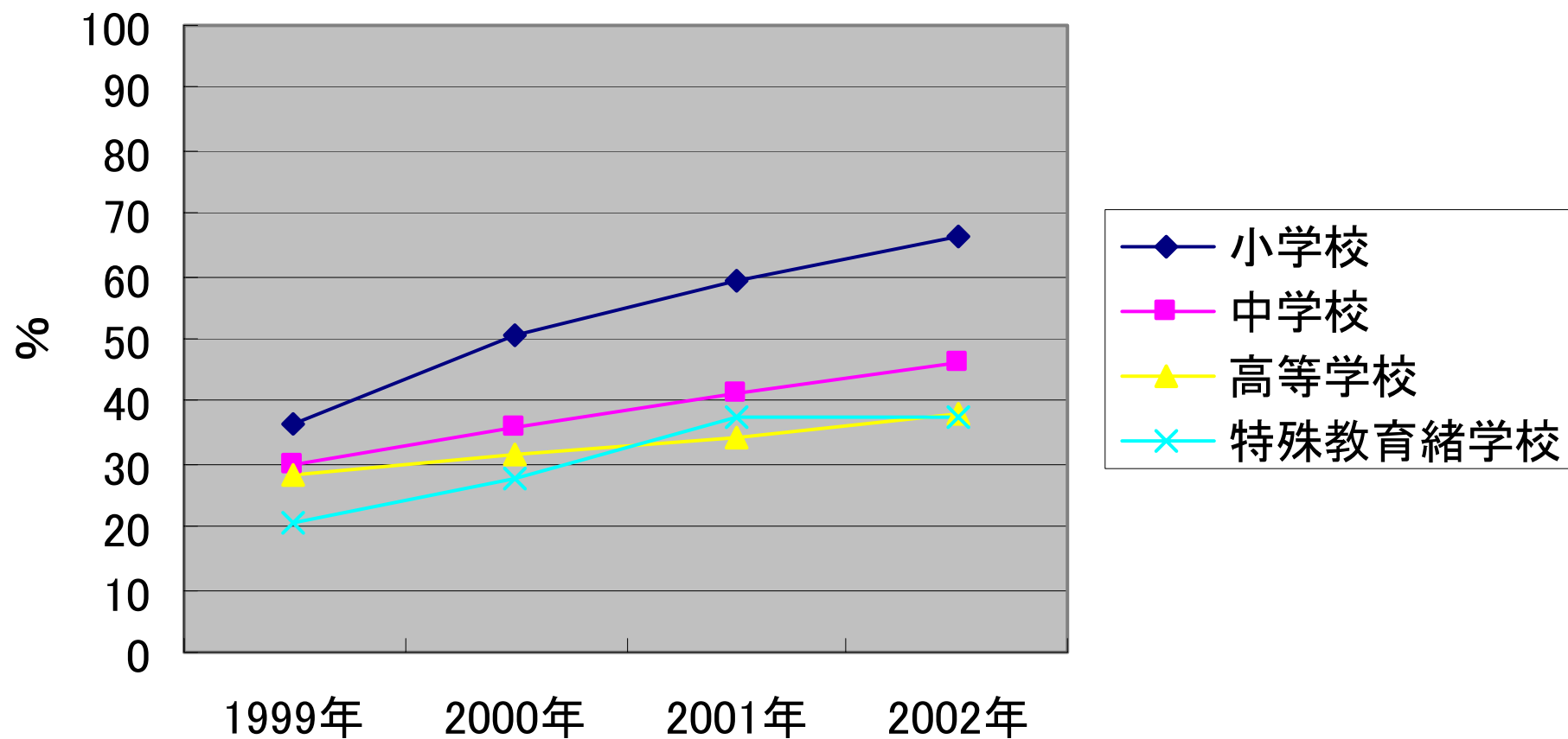
(情報教育の実践と学校の情報化, 文部科学省, 2002年)

# コンピュータを操作できる教員数





## コンピュータで指導できる教員数

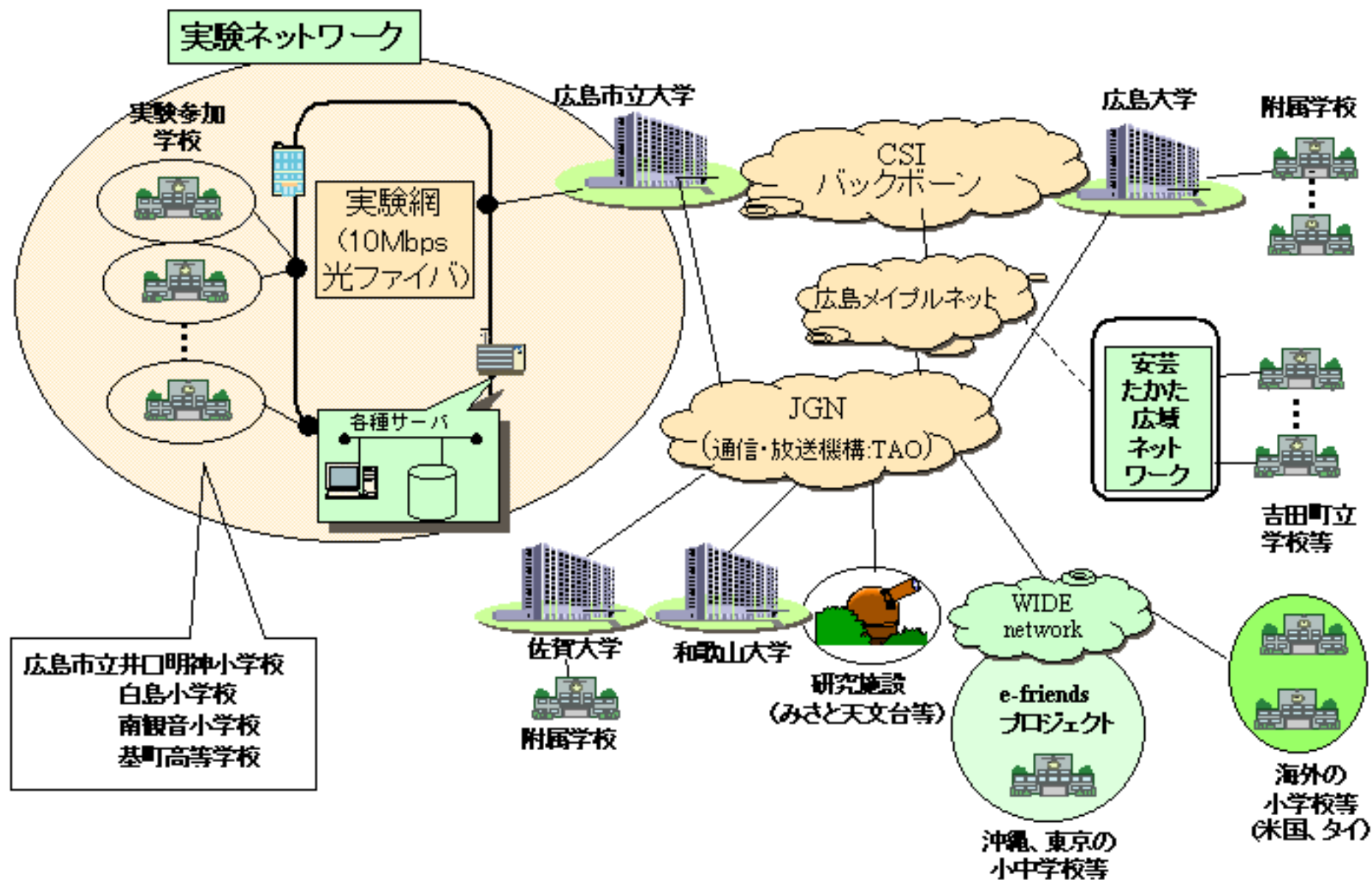


# 広島地域での活動



- 中国・四国インターネット協議会
  - School@csi(1995年)
    - コミュニティ形成
  - 「ネットdeがんす」プロジェクト(1998年)
    - 128Kbps専用線
  - 「マメdeがんす」プロジェクト(2002年)
  - 「2マメdeがんす」プロジェクト(2001年)
    - 10Mbps光ファイバー

# 平成14年度研究用実験環境





# 実践事例

---

- 教科学習
  - 国語, 音楽
- 特別活動
  - クラブ活動, 学級会
- 総合的な学習の時間
  - 国際交流, 異校種共同学習
- 高大連携授業













# 身の回りの象徴的な出来事

---

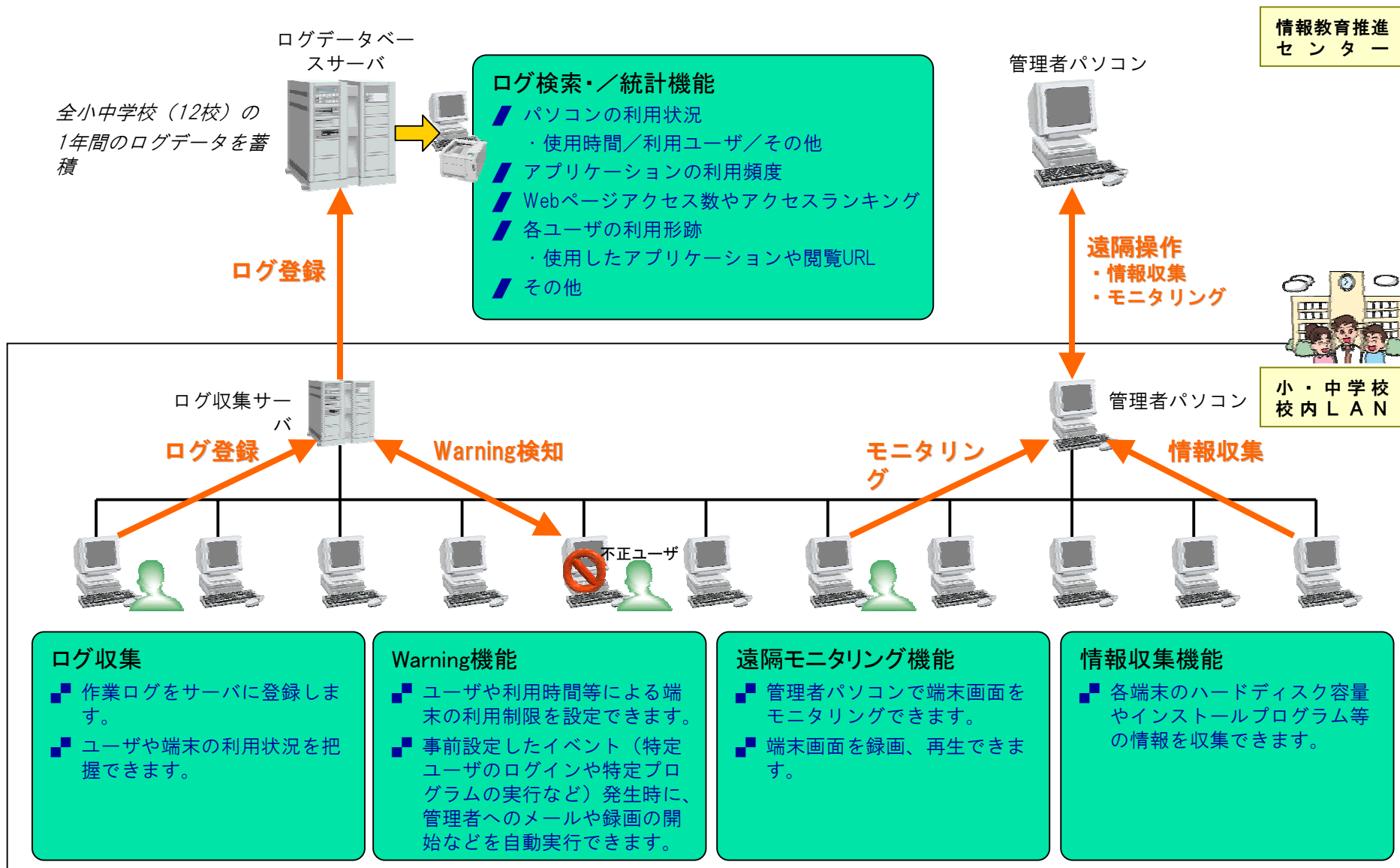
- 提出書類の増加
- 外部機関との連絡調整の手間
- コンピュータ等のメンテナンス
  - Windows Update は自分でやってほしい
- 業務への電子メール活用の兆し？
  - 電子メールは自分で送信してほしい
- 児童生徒は進んでいる



# 京田辺市教育委員会での事例

---

# 京田辺市情報ネットワークログ収集・検索システム





# 今回の経緯

---

- 学校からの調査依頼
  - 掲示板の書き込みトラブル
- センターで調査
  - URL検索
    - パソコン名
    - 接続時間
- 学校への調査報告
  - パソコン名・接続日時を報告
- 学校での生徒指導
  - 資料に基づき指導



## まとめ

---

- 教師と児童・生徒との格差が大
- 学校と家庭との格差も大
- 学校にもITの兆しが・・・・・・・・
- 年齢が・・・・・・・・
- 10年たって変わったこと
  - 教育は変わらない